

おかげさまで10周年。KBS創研は、知識 [Knowledge] と行動 [Behavior] で問題解決 [Solution] を支援します。

5月5日は二十四節気の「立夏」。早くも暦の上では夏を迎えます。GWが終わると夏商戦が始まります。海外旅行や北海道、沖縄といったロング方面の比較的単価の高いお客様から申し込みが始まります。早めの準備をお願いします。

株式会社 KBS 創研 代表取締役 小泉 寿宏



KBS 創研は 2013 年 4 月 1 日、おかげさまで開業10年目を迎えました

頑張る観光業の事業者と観光で活性化しようとする地域を これからも全力で応援してまいります！

2004年4月1日に有限会社小泉ビジネスソリューションズとして開業した KBS はこの 4 月、おかげさまで 10 年目の佳節を迎えることができました。これもひとえにクライアント様、パートナー様のご愛顧、ご支援の賜物です。心より御礼申し上げます。

この 10 年を振り返りますと観光業界を取り巻く環境は大きく変わりました。流通面では旅行会社の営業が苦戦する中インターネット販売が大きく伸び、チャネル・キャプテンの地位が変化しつつあります。宿泊プラン販売においては、じゃらん net、楽天トラベル等予約サイトでの取扱いが大手旅行会社に匹敵する水準まで成長。スマートフォンやタブレット端末の普及によりこの勢いは更に続くものと考えます。一方観光事業者の経営に着目すると、売上が伸びず、経済成長期に実施した設備投資やそれに伴う金融機関からの借入金が重荷になり計画どおり償還できない事業者が後を絶ちません。中小企業金融円滑化法はこの 3 月末日で終了しましたがこれらの問題は依然解決せず、国においては中小企業者への新たな支援策として「中小企業経営力強化支援法」を施行し、国が認定した専門家による財務面を中心とした支援等高度な知識、知見を活用した経営改善を行う体制を整えました。

このような時代の変化に伴い、KBS も事業の形を変えてまいりました。創業当時はリアル営業を中心としたコンサルティングが主でしたが、最近ではリアルのみならず Web 販売を組み込んだ営業スタイルや事業者を事業モデル面、財務面両面から評価し金融機関等債権者と連携し事業の道筋をつける事業再生等今の時代にマッチした支援のあり方を提案してまいりました。

本年 1 月の本紙において掲載した「2013 年の KBS の取り組み」のとおりに、観光を支える企業（「個」の支援）と観光による地域活性化（「面」の支援）の双方を支援する体制を整えるため、東日本においても新たなメンバーを加え、東西両拠点を中心に地域に密着した活動を行ってまいります。

更に関連会社においては、事業に窮する事業者へのバックアップを行う事業再生専門会社のネクストサポートや地域の魅力あるコンテンツを商品化し、それを首都圏、関西の市場に紹介するふるさと応援隊を更に強化し、観光業界、地域社会・経済のお役に立っていく所存です。

今後とも KBS 創研、KBS グループを何卒ご愛顧、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

◎新メンバーご紹介

東日本営業部長 兼 広報室長 野中瑠美子

5 月 1 日から KBS 創研のメンバーに加わるようになりました野中瑠美子と申します。この場を借りまして、みなさまにご挨拶をさせていただきます。

「ありがとう」

そう言って頂けると嬉しくて、一生懸命頑張っている誰かの何かのお手伝いがしたい。そんな想いからいつの間にか、ここまで歩いてきたように思います。その「ありがとう」にたくさん出会える場所、たくさんのドラマが生まれるのがまさに「旅」というシーンではないかと思っています。

旅行や観光に対する概念や捉え方が時代

によって変わっても、旅行＝生きることを楽しむこと。心の贅沢というお買い物。自分時間を楽しく充実させるもの。そんなふうに出てくる人が 1 人でも多く増えてもらえたら、と。

そのために、ビジョンやありたい姿にどうすれば近づけるのか、どうすればお客様に喜んで頂けるのか、現状や課題を把握し、仮設・戦略を立てて目標を設定し、ギャップを考慮しながら実行していく。

そして、振り返りとブラッシュアップという、PDCAのサイクルを一緒に回していきたいと思っています。

上からでも下からでもなく、まっすぐにみなさんと向き合える「現場感のある」パートナーであり続けられるように、「夢をカタチにする」お手伝いができればと思います。

〇プロフィール



株式会社リクルートにて、旅行情報誌「じゃらん」インターネット宿泊予約サイト「じゃらん net」等メディアや調査部門を活用し、地域への誘客施策立案や推進、商品企画及び各宿泊施設への経営支援・販売促進業務に従事。

その後、旅館支配人、都市型中心市街地の地域活性、産官学連携事業、新規事業開発等の実務経験をを経て、2013 年 5 月より現職に至る。

「人」「街づくり」に関わる新規事業の立ち上げや、組織体制・商品設計・顧客開拓などゼロからのモノ創り、ロールモデル構築等のフェーズでのコンサルを得意としている。資格：国内旅行業務取扱管理者

◎多くの方々との関わりで迎えられた開業10周年の節目。

新たなステージに向けて、新メンバーに迎え、経営会議を神戸にて開催！

小泉、谷口に加え、東日本の責任者として新たに迎えた野中を交えての経営会議を、KBS 創研のお膝元でもある大阪と神戸にて去る4月3日から3日間に渡り、開催いたしました。

1日目は、ホームページ等で活用させていただくための写真撮影を、大阪・梅田にある株式会社セルフフィットさんにて行いました。セルフフィットさんとのご縁は、昨年、同社の研修にて講師を務めさせていただいたことでした。



ホームページ用の写真撮影。セルフフィット様にて。

この時から、次回、KBS で写真撮影をする時は、同社にお願いしようと考えていました。一般的な証明写真と言え、写真館の片隅にあるスタジオセットでパシャッと撮影するということが多いかと思いますが、同社では、まず専任の担当者によるヘア&メイクからスタートし、撮影スタジオへ移動。そこで撮影を行い、数ある写真の中から好みの写真を選択するという、私たちのこれまでの証明写真の概念を覆すシステムを取っておられます。実際に体験してみると、それはひとつのエンターテイメント！撮影前の楽しみ、撮影中の楽しみ、撮影後の写真を選ぶ楽しみがあるのです。

これはまさに旅行と同じです。この日撮影した写真は、5月から一部リニューアルした KBS のホームページでも早速使用させていただいております。

「神戸旧居留地オリエンタルホテル」での充実した会議

2日目からは本格的な会議を開催いたしました。会議場所として選ばせて頂いたのは、神戸の人にとっては特別な思いを抱く、「神戸旧居留地オリエンタルホテル」です。この旧居留地に建つ「神戸オリエンタルホテル」の歴史は長く、創業は1870年（明治3年）にオランダ人が開業したのが始まりだそうで、その後旧居留地でオーナーと建物の移転を経て、1917年（大正6年）に東洋汽船の所有となり、初めて国内資本のホテルとなりますが、第二次世界大戦の神戸大空襲で被弾し、取り壊されました。

戦後、1948年（昭和24年）に現在の地にて4代目となる建物を新築し、営業を再開、神戸を代表するホテルとして、その長い歴史を刻んでいきますが、1987年（昭和62年）に当時の運営法人の経営難によって、ダイエーに売却され、新たな道を歩んでいきます。しかしながら1995年（平成7年）の阪神淡路大震災によって建物が大きな被害を受け解体され、その後しばらくの休業を経て営業再開を模索するものの、廃業となり、その長い歴史に終止符が打たれることになりました。

その神戸オリエンタルホテルの名称で2010年（平成22年）に新たにホテルを再開させたのが、株式会社 Plan Do See さんです。同社は、ホテルのほかにもブライダル事業を得意とする企業で、とりわけ企業や建造物の歴史を重んじ、それをうまく活かすことがとても上手な企業でもあります。私のリクルート時代のご縁で、このホテルのスイートルームを使わせていただき、充実した会議を実施することができました。



歴史の重みを感じられるスイートルームにて経営会議。

「ホテル ラ・スイート神戸ハーバーランド」

賓客をおもてなしする神戸のホテルの顔へ

そして、最終日の午後からは場所をメリケンパークに位置する「ホテル ラ・スイート神戸ハーバーランド」へ、同ホテルの総支配人を務める檜山和司氏とは、小泉と谷口が JTB 時代からのご縁であり、新たにメンバーに加わった野中のご挨拶も兼ねてお伺いさせていただきました。檜山氏は、レストランのサービス責任者のコンクールである「第1回メートル・ド・テルコンクール」で優勝という日本でも随一のサービスマンとしてのご経歴をお持ちの方でいらっしゃる、「ホテル ラ・スイート神戸ハーバーランド」は、この檜山氏を総支配人に迎え、2008年オープンしたホテルです。同ホテルは、全70室、すべてスイートルームの客室が配された、神戸港を一望できるスモールラグジュアリーホテルで、アッパーな客層にターゲットを絞り、ハードはもちろん、料理や調度品、おもてなしにいたるまで徹底され、好評を博しているホテルです。現在、この神戸の地にて、2つ目となるホテル建設も進められているそうで、賓客をおもてなしする神戸のホテルの顔としての地位を着実に築かれておられます。さて、この3日間が充実した会議になったのは言うまでもありません。これも関係者の皆様のお力添えあつてのことで、改めてこの場を通じ御礼を申し上げたいと思います。また、これまでの様々な人との関わりによって、今の KBS 創研が開業10年という節目を迎えることができたのだということを実感いたしました。これからも変わらず、どうぞよろしくお願い申し上げます。



総支配人の檜山和司氏と共に。
(右より2番目)



10周年という記念すべき年に広報紙『Together』の編集に携わることができ大変光栄に感じております。Together は会社設立の翌月の2004年5月に創刊されてから一度も休むことなく発刊されてきました。「お客様と会社をつなぐ大切な広報紙」（小泉社長）の編集を通じ、頑張る観光業の事業者と観光で活性化しようとする地域を応援できるよう取り組んでまいります。（増田）

株式会社 KBS 創研

本社・西日本営業部：〒661-0003 兵庫県尼崎市富松町1-9-15-103 TEL：06-6423-5561/ FAX：06-6423-5571
東日本営業部：〒103-8246 東京都中央区日本橋2-6-5 日本橋2丁目ビル6階 TEL：03-6453-9088/ FAX：03-6453-9089
＜関連会社＞ネクストサポート株式会社（事業再生コンサルティング）
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-6-20 マスイビル6階 TEL：06-6282-7226/ FAX：06-4707-3855
特定非営利活動法人 ふるさと応援隊（着地型観光支援事業）
〒604-0044 京都市中央区小川通押小路下町古城町376-205 TEL：070-6928-0602

- 代表取締役：小泉寿宏
- 事業内容：観光・サービス業の経営支援
- 設立：2004年4月
- 地域オフィス：関西・東京